

社会協通信



笑顔さんが
集まる拠点に!!



発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号
(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6403 FAX 082-264-6413
URL : <http://shakyo-hiroshima.jp/>
E-Mail : chiiki@shakyo-hiroshima-city.or.jp



広島駅前大橋北詰の東側に位置する複合施設
「BIG FRONT(ビッグ・フロント)ひろしま」の5、6階に

広島市総合福祉センターが オープンしました

広島市総合福祉センターには、福祉団体やボランティアが活動を行ったり、相互に交流を深めたりする場として、ホール、会議室、料理教室、ボランティア研修室があり、この施設が積極的に活用され、市民の福祉活動の拠点となることが期待されています。

また、地域での福祉活動の担い手を養成するため老人大学を開催するほか、ボランティア活動に関する相談やコーディネート、福祉団体が連携して行う全市的な活動への支援など多様な機能を備えています。

さらに、交通の便の良い広島駅南口に立地している利点を活かし、高齢者や障害者を含むより多くの方が気軽に利用できるようバリアフリーに配慮された施設となっています。広島市社会福祉協議会が中心となって福祉関係団体やボランティア等と共に、全市的な福祉活動を推進するための様々な活動を展開していきます。

新会長 挨拶



広島市
社会福祉協議会
会長
永野 正雄

この度、山本前会長のあとを受け、昨年11月6日付で広島市社会福祉協議会会長に就任しました、永野でございます。

本格的な高齢社会の到来に備え介護保険制度の改正がなされ、地域支援事業の充実が求められるとともに、社会福祉法の改正により、社会福祉法人の経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の社会福祉制度の改革が行われました。

このような状況のなか、広島市社会福祉協議会は、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」構築の一翼を担うため、昨年10月から、地域の皆様の参画を得て、「地域高齢者交流サロン運営モデル事業」及び「住民主体による訪問型生活支援モデル事業」を実施しています。

地域全体で自分たちの地域のことを考え、地域住民自らが行動していくことは、市社協・区社協で策定し実行している「地域福祉推進第7次5か年計画」のスローガン「みんなでつくるささえあいのまち」を実現することにもつながると考えています。

昨年12月5日、全市的な地域福祉活動の拠点施設として「広島市総合福祉センター」がオープンし、皆様の活動や交流の場を提供するとともに、新たな取組として「シニア応援センター」を開設し、高齢者の方々に対し就労をはじめとした幅広い社会参加・社会貢献の機会の提供に取り組んでいますので、積極的なご利用をお願いいたします。

本会は、広島のみちを誰もが住みやすい「ささえあいのまち」にするために、これからも地域の皆様と手を携えて歩んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

各記事につけられた以下のマークは、その事業が本会「地域福祉推進第7次5か年計画」のどの基本目標に属するかを表しています。



広島市シニア応援センターがオープンしました!



平成28年12月5日、広島駅前に完成したBIG FRONT ひろしま の6階(広島市総合福祉センター内)に広島市シニア応援センターがオープンしました。

センターでは、元気で活動的な高齢者を対象に職業紹介やボランティア活動の紹介を行うなど、これまで培ってきた知識や経験を活かし、生き生きと活躍できるようにサポートします。

【対象者】

[職業紹介の場合]

求職者:広島市内にお住まいの60歳以上の方

求人者:広島県内に就労場所のある事業者

[ボランティア活動の紹介など]

広島市内にお住まいのシニアの方



シニアの
社会参加を
応援します!

【場所】

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号

広島市総合福祉センター内(BIG FRONT ひろしま 6階)

広島市シニア応援センター

TEL:082-264-6415 FAX:082-264-6439

Email:jigyoun@shakyohiroshima-city.or.jp



概要

「広島市域の社会福祉法人が連帯して取り組む 新たな地域貢献事業検討委員会」提案書(案)



広島市域の社会福祉法人は、戦中・戦後の混乱・困窮期から、原爆孤児の救済や身寄りのない高齢者、家庭で養育しがたい児童や障害のある方々の生活を支援し福祉を高めることを目的として、創始者の私財を投げうって設立された法人が多く、爾来、社会の要請に応じ、様々な社会福祉事業、公益事業、地域貢献の取組を展開してきました。

このような中、社会福祉法人施設等が拠出しあい、生活困窮者支援を行う先駆的な取組が各地に広がるとともに、社会福祉法人制度改正が国において進められることを受けて、広島市域の社会福祉法人も、より一層地域のニーズに沿った地域貢献の取組を広げていきたいと考えました。

そこで、社会福祉協議会も含めた5分野(老人・障害・児童・母子・保育)の広島市域の社会福祉法人が、社会福祉法人の本旨に則り、それぞれの専門分野の枠を超えて、連帯して取り組むにふさわしい地域貢献事業について、具体的にテーマや内容、実施のための経費や体制について検討する委員会を、平成27

～28年度において立ちあげました。その検討結果を現在「提案書」としてまとめようとしていますので、その概要を速報としてお知らせします。

以下の共通して取り組みたいテーマに、より多くの社会福祉法人が取り組む、あるいは社会福祉法人同士が一緒に取り組む、そんな「連帯」した取組をすすめていきます。

- (1) 生活困窮者支援(就労支援)(生活支援)
- (2) こどもの貧困対策
- (3) 福祉教育(福祉理解の促進と福祉を担う人材育成)
- (4) 災害支援
- (5) 施設の機能や場所の提供
- (6) 制度の狭間の問題の把握・発信・対応
- (7) 人材確保・育成のための連帯



『まあ来てみんさい 出会いが楽しい みんなの「居場所」』
 ～社会的課題に取り組む地域福祉活動 実践発表会 シリーズ3～を開催します。



シリーズ3回目となる今回は、「こども食堂」をはじめ、様々な人にとって、安心できる場、出番や役割のある場を意識的に創っていかようとしている人たちが集い、居場所の現状や思い描く目標について発信するとともに、実践者同士がつながり合い、ここでの出会いが今後の活動への活力になることを期待しています。

今回は、「広がれ、こども食堂の輪!」実行委員会様のご協力を得て実施いたします。

- 1 日 時 平成29年3月5日(日) 13時30分～16時30分
- 2 会 場 広島市総合福祉センター 5階ホール(広島市南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま 5階)
- 3 参加対象 「居場所」についての活動に関心のある方ならどなたでも。
 ※現在の活動実績は問いません。
 (これから居場所づくりをしてみたい方、居場所を探している方、居場所を紹介したい人がいる方、居場所でお手伝い(ボランティア)をしてみたい方など)
- 4 内 容 ●基調講演「広がれ、こども食堂の輪!(仮題)」
 講師:近藤 博子 氏
 (気まぐれ八百屋だんだん店主・「広がれ、こども食堂の輪!」全国ツアー実行委員会 委員)
 ●分科会:分科会テーマは以下の通りです。
 【こどもの居場所】「こども食堂の始め方、運営の方法について」
 【介護者・認知症支援】「認知症カフェとは」
 【当事者支援の居場所】「孤立している人が求めている居場所とは」
 【地域の居場所】「また行きたくなる居場所とは?」
 ●まとめ:分科会で話し合ったことを報告しあいます。
- 5 参加費 無料
- 6 問い合わせ先 社会福祉法人広島市社会福祉協議会 福祉課地域福祉係
 TEL:(082)264-6403、FAX:(082)264-6413
 E-mail:chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp



子どもの育ちの支援について検討する問題別委員会の
 報告書を作成しました!



「子どもの育ちの支援について検討する問題別委員会」は平成27年12月に「地域福祉総合企画委員会」の問題別委員会として発足しました。合計12回の委員会を開催して現状・課題等を共有し、具体的な提案等をまとめた報告書を作成しました。その一部をご紹介します。

諮問事項:子どもの健やかな育ちを支援する「地域づくり」とその「しくみづくり」について

- ①子どもも親も、「地域の人たちによって支えられている!」と実感できる地域づくり
 「地域の一員として参加したい、役に立ちたい!」と思える意識の醸成と地域づくり
 - ②地域で包括的に子育て家庭を支える仕組みと社協の役割
- 上記の①、②の内容について、委員会で情報共有し、具体的な提案等をまとめました。

①のまとめ

【市・区社協として】

- ・「つなぎ先を知っている人を増やす」講座の開催
- ・「つなぎのための既存の資料」の活用と使いやすくなるための提案
- ・子育てに関する取組事例の収集と発信
- ・子どもや親が地域に愛着を持てる福祉教育の推進
- ・子育てについてやりがいと喜びを感じる福祉教育の推進

【地区社協として】

- ・子どもや親が地域に愛着を持てるような取組の実践
- ・利用者が担い手につながる子育てグループの応援

②のまとめ

【市・区・地区社協として】

- ・社協には地域福祉を推進する様々な団体をつなぎ、束ねる役割があります。これらの機関・団体と情報共有、連携して子育て支援を進めます。(イメージ図参照)

地域で包括的に子育て家庭を支える仕組みづくり イメージ図



広島市くらしサポートセンターについて



広島市くらしサポートセンターは、生活保護を受給するまでではないものの、様々な理由により経済的な面で生活に困っている方の相談窓口です。

例えば、『長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない』、『家賃が払えなくて、もうじき退去を求められそう』、『家計のやりくりができず、借金も抱えて生活が苦しい』などの相談を日々お受けしています。

相談の内容に応じて、制度の利用や他機関との調整など、課題解決のために一緒に考えていきます。

自らご相談いただくことはもちろん、周りに気になる人がいるという方も遠慮なくご連絡ください。

なお、このたび広島市社協の移転に伴い、広島市くらしサポートセンターの窓口も以下のとおり一部変更となっております。

本部(東区、南区、安芸区担当)

所在地：広島市南区松原町5-1
BIG FRONT ひろしま6階
電話：082-264-6405

中部サブセンター(中区担当)

所在地：広島市中区大手町4-1-1
大手町平和ビル5階
電話：082-545-8388

NEW

西部サブセンター(西区、佐伯区担当)

所在地：広島市佐伯区海老園1-4-5
佐伯区役所別館5階
電話：082-943-8797

北部サブセンター(安佐南区、安佐北区担当)

所在地：広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階
電話：082-831-1209

※FAX、Eメールによるご相談は各センター共通

FAX：082-264-6413 Eメール：kurasapo@shakyohiroshima-city.or.jp

電話や来所だけでなく、**相談員が外向く訪問相談も可能です。**サブセンターのない区でも、相談者の希望する場所まで相談支援員が外向きますので、遠慮なくご連絡ください。

「町内会・自治会加入促進 アイデア募集」 市・区社協職員アンケートを実施

広島市域では年々、町内会加入率が低下しており、住民活動を進める上でも、たくさんの世帯が町内会に加入していただけることが望ましいと考えています。このような背景もあり、昨年9月に標記職員アンケートを実施しました。125名中103名の職員から回答があり、町内会加入率は75%と、広島市の平均61.3%より高い加入率を示しました。

「加入が進んでいない理由」については235件の回答があり、マンション等集合住宅の問題、活動内容や会費使途への不明感、役員・役割への負担感、近隣と関わりたくないという意識、そもそも「誘いが無い、きっかけがない」といった意見など、具体的な意見が多数寄せられました。

では「加入を促進するためにはどのような取組があればよいか」については187件の回答があり、その一部を紹介します。

- 行事があるごとに、また日常的にはコンビニやスーパー等の協力を得て、「町内会加入コーナー」を設ける。
- 町内会の役員等お世話する人の顔がわかると親しみや安心感がわくので、写真等を載せた広報をつくる。
- 地域で顔の見える関係づくりが、災害等の非常時に安心感を与えることや、防犯等に役立つことを周知していく。
- 集合住宅でも1世帯から加入できるようにする。
- 高齢者や障害者世帯等への会費や役割の免除。
- 小中学生の時から、町内会の役割や重要性、たすけあいの必要性などの福祉教育を進めていく。

今後、これらの意見を具体的に提案し、実施していきたいと思っております。